

公共情報コモンズの新たな名称： 「災害情報共有システム(Lアラート)」の決定

「公共情報コモンズ」は、地方公共団体が発する災害情報を集約し、テレビ、ラジオ、携帯電話、ネット等の多様なメディアを通じて一括配信するシステムであり、2011年6月より運用中。

総務省にて開催された「災害時等の情報伝達の共通基盤の在り方に関する研究会」の報告書を受け、公共情報コモンズが発展モデルに進化することを踏まえ、国民に分かりやすい新たな名称を2014年8月1日に決定。

新名称のコンセプト

1. 市区町村など地域の災害情報等を共有する共通基盤として、発信された情報をテレビやラジオ等の多様なメディアで一括配信するシステムを表現。
2. 災害時の地域のお知らせを地域の住民に迅速かつ確実に届けていくローカル(Local)な緊急警報(アラート)というメッセージ。
3. 災害の多いアジア諸国等に対する海外展開を念頭に置いたグローバルな呼称。国民保護情報や緊急地震速報等を伝達する「Jアラート」と一対の仕組みとして展開。